



## 人生を彩る手芸の世界!!



三津口在住の谷孝子さん(80才)のお宅には、毎月第1、3水曜日の午後1時、同好会のメンバー14~15名が次々と集まります。

平成11年5月、三津口手芸同好会として立ち上げられ、文化団体連盟にも加入、秋の文化祭には多くの作品を出展され、その出来栄は見る者の目を奪います。

レパートリーは、木目込み人形・パッチワークを主体に、壁掛け・袋物・干支の置物等様々。布切れ1枚が谷さんの手に掛かれば、魔法のように変身します。

皆、手を動かしながらワイワイと賑やかで、さながら大家族の雰囲気です。作りながら楽しい時を過ごし、出来上がって喜びを分かち合い、出展の準備や成果など、全てが谷さんのリーダーシップあってこそ。「長年続けて来られたのは皆さんのお陰です」「いいえ、先生のお陰」と、互いに謙遜しあい仲睦まじく、タンポポのような教室です。



教室の風景



作品のパッチワーク

## 新成人の誓い



倉本 昂さんと 橋本 悠莉さん

困っている生徒を一番近くで助けたいと、中学校の国語教師を目指している倉本さん。願いは子どもたちに自分と同じような気持ちで中学校生活を送ってもらうこと。安浦で同級生の子どもたちを教えたいと、夢を語ってくれました。

この春に短大を卒業し、4月から保育士として社会に出る橋本さん。安浦が好きで、就職は呉市内で決めた。はたちの誓いを頼まれたとき、私でよいのかとまどいました。

終わった後、みんなに「よかったよ」と言われ、夢を伝えることもできました。これからは何か安浦のために貢献したいと話してくれました。

安浦町の成人式は、新成人による実行委員会形式で行われています。今年には倉本さんを中心に10名。社会人や県外の人もあり、全員集合が難しい中、LINE(SNS)などを駆使して連絡を取り合いました。LINE「安中同窓会」を立ち上げ、同級生9割が参加。成人式当日は、そのほとんどが出席しました。



## まちづくり活動

### 平成27年度 まちしるべ事業 内海編

地名(字名)の歴史・伝承・特色などを石碑に刻み後世に伝える「まちしるべ事業」。今年度は内海地区でした。

内海は小さな地区がたくさん集まっているため、内容の偏りなどが出ないように、全体をまとめた大きな石碑を1本と、字図を設置しました。設置場所は南薫三記念館の敷地内です。地域のみなさん、ぜひ見に来てくださいね。



### 安登駅駐輪場を地域の語らいステーションに!



もっとみんなで利用してネ!!

JR安登駅前の駐輪場は、昨年4月に呉市から地域住民に管理が移り約1年が経ちました。無料化になって駅前の放置自転車・バイクが無

くなり、ずいぶんと綺麗になりました。駐輪場の2階部分は地域コミュニティ活動の拠点にと、トイレが改装され、呉市の補助金や地域の皆さんの寄付により、譲り受けた各種道具で、マージャン・囲碁・将棋・簡単な体操などができるようになりました。2階広場や管理室等の利用にはまだまだ余裕があります。個人やグループの使用は無料(後始末の掃除は必要)。事務局長の平賀さんに電話(080-6310-1977)で問い合わせ、利用して下さい。地域の皆さんが気軽に語らえる場所にしましょう。



2F 広場



管理室

## 新生! 安浦小学校がスタート

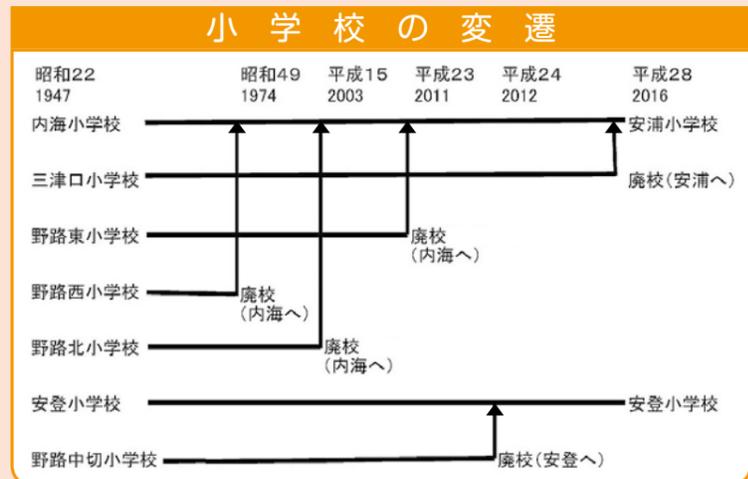
### 三津口小学校、内海小学校 143年の歴史に幕

安浦町内には、昭和49年まで7つの小学校がありました。児童数減少により統廃合が行われてきました。そして平成28年4月、三津口・内海の両小学校を廃止統合し、「安浦小学校」が誕生します。

### さようなら、三津口小学校

三津口小学校の歴史は古く、明治6年賛成舎(雪谿舎(せつけいしゃ))が開校され、明治10年「三津口小学校」に。昭和22年からは新学制による三津口小学校になりました。

多くの卒業生を送り出し地域に親しまれてきましたが、3月で廃校となり、4月から子どもたちは、安浦小学校へ通学します。現在、三津口小学校PTAが中心となり、5月発行予定で記念誌を作成中です。



昭和48年頃の三津口小学校



内海尋常高等小学校東校舎落成 昭和2年

## 安浦小学校の誕生



明治6年に得序館として開校した内海小学校。昭和49年~平成23年の間に廃校になった野路地区3小学校を統合し、児童数は現在約240名。4月からは内海小学校を廃止し、新たに「安浦小学校」としてスタート。三津口小学校と合わせ、児童数約300人の新しい小学校が誕生します。

内海・三津口両校のPTAや関係自治会長などで構成する「学校統合検討委員会」は、これまで統合に伴う様々な問題を協議してきました。平成27年秋に校名が決まり、年末には校歌、校章が決定。児童や地域住民のアイデアが取り入れられています。

### 呉市立安浦小学校 校歌

作詞 仙田 郷子  
作曲 仙田 郷子



## おでかけ情報

3月	いなし安浦青空市 3/19 (土) 8:30~	いなしふれあい広場
	まちづくりセンター学習発表会 3/19・20 (土・日)	公民館
4月	あそび場(くれんど) 4/9 (土) 13:30~	ポラーノ広場
	このゆびとまれの絵本会 4/9 (土) 10:00~	安浦図書館
	第4回蔵祭り 4/10 (日) 10:00~	盛川酒造

5月	あそび場(くれんど) 5/14 (土) 13:30~	ポラーノ広場
	このゆびとまれの絵本会 5/14 (土) 10:00~	安浦図書館
	くれまちかどコンサート 5/28 (土) 14:00~	きらめきホール

中世から近世へ。千年の時を越え!!

## 安浦の海と島は、伝説にあふれている!

グリーンピアせとうち周辺の海と島は、遠い昔から人と文化が行き交い、多くの伝説が残っています。

### 平安期

- ①稚児明神：平安末期、平治の乱後、源頼政の側室あやめ御前が逃れ来て、乳が出る様に祈願したと伝えられています。
- ②金箱：平家の残党が武器や軍資金を隠したと言われていました。
- ③大泊：古くは神功皇后の軍団が朝鮮半島に出兵した時、停泊したとの伝説が残っています。平安末期の1190年西行法師が一夜を過ごし、歌を残しました。
- ④馬島の日向泊：神武天皇東征の折、隼人族の軍団が停泊したとの伝説が残る場所。又、栄華を極めていた平清盛が高倉上皇とともに、厳島に参詣途中に停泊したとの記録が残っています。
- ⑤柏島：馬島に泊った高倉上皇が、みそぎを行い、拍手の音がこの島に鳴り響いたことで名付けられたと言われています。

### 江戸時代

- ⑥横島：広島藩の火建山（朝鮮通信使が通行する時など狼煙をあげる場所）がありました。
- ⑦小熊島：広島藩の御建山（藩が直接保護、専有する森林のこと）でした。
- ⑧下碇礁：1826年オランダの医師シーボルトが長崎から江戸へ航海する折、海の難所と書き残しました。



## 季節旬な情報

### 空飛ぶ宝石カワセミ

コバルトブルーが美しいカワセミ。近年は環境破壊などで少なくなっていると言われていたが、安浦ではあちらこちらで見ることができます。

野呂川流域、安登公園や市迫、グリーンピアせとうち、野呂山登山道沿いなどがそのポイント。早春に繁殖が始まり池や川の土手に巣をつくります。ため池が多い安浦。ウォーキングの途中に、目を向けてはいかがでしょう。



撮影場所：安登西 撮影者：河内さん

### 地域の楽園 里山作り

女子畑地区は花がイッパイ!!



森吉美樹登さん

女子畑在住の森吉美樹登さん(76才)は、「どびんごの会」を結成されました。かつての花見山や所有地周辺の猪対策で垣根を設置した時、自生する山桜・ツツジ・椿などが多い事に気付き、育成したのがきっかけでした。以来、季節毎に花が咲く里山づくりを目指し、仲間と一緒に桜・もみじ・あやめ等を植え、歩道を整備されています。

雑木伐採や道沿いの草刈など、日常の管理は大変でも好きなことは苦勞とは感じない。早く花木が成長し、遠くからでも見えるようになれば最高だと、話される森吉さんです。



椿の群生と遊歩道、見頃は3月下旬まで



つつじの里山、見頃は4月中旬

## 地域デビューしてみませんか?

気軽に参加、明るく楽しくまちづくり活動、あなたの知識、経験、技術、趣味などがまちづくりの原点です。



TANTO (年4回発刊)



広報班

まち協人材募集中!!



やすうらガイドブック



まちしるべ看板マップ班



実成新開桜植樹



ひまわり畑

休耕田活用・景観保全(安浦ブランド品考案) ええとこ村プロジェクト



高砂市交流・JRフォトコン・他団体視察 人材育成・先進地視察研修

ホームページ やすうら夢工房 <http://www.yasuura-yumekobo.com>

まち協に興味・関心のある方、ぜひ参加してください。まち協とこんな事業をしてみたいとの企画はありませんか? お気軽に相談してください。

サポーター：山田・町田・山本  
連絡先：地域協働スペース(安浦市民センター内) Tel: 84-2261

## 写真でみる今と昔

### 安浦アーカイブ

内海

時代とともに様変わりする景色や人々の暮らし、懐かしい風景をご覧ください。

#### 内海 中央二丁目



昭和34年頃の火災防止運動、旧国道185号を走る先頭には3輪消防車が走っている。



山の稜線と砕石場所は当時と同じ、現在は大型店舗が立ち並んでいる。

#### 内海 南一〜二丁目



大正末期〜昭和初期の野呂川河口、木造船が浮かんでいる。



河口の形状は当時のままだが、水深が浅くなり船の航行は難しい。